

医療機関使用欄

ヤーズフレックス®配合錠服用開始日

年 月 日

ヤーズフレックス®配合錠に関するお問い合わせ
バイエル薬品株式会社 くすり相談
ヤーズフレックス専用ダイヤル

0120-822-091

受付時間:365日24時間

RMP

(202008) FLX-10.0(10/オビ) (HH/HH)
PP-YZF-JP-0449-03-12

資材記号 **FLX180702**

患者携帯カード

子宮内膜症に伴う疼痛改善剤・**ヤーズフレックス®配合錠**を服用して
月経困難症治療剤 **いる方へ**

- ヤーズフレックス®配合錠を服用すると、**血栓症(血管内に血のかたまりが詰まる病気)**を発現する可能性があります。
- 血栓症の早期発見のためにも**定期的な診察**を受けてください。
- 次のような症状があらわれた場合は、**すぐに救急医療機関を受診**してください。

●突然の足の痛み・腫れ

●激しい頭痛、舌のもつれ・しゃべりにくい

●手足の脱力・まひ

●突然の視力障害(見えにくいところがある、視野が狭くなる) など

●突然の息切れ、押しつぶされる
ような胸の痛み

他の診療科、医療機関を受診する際には、
このカードを必ず提示してください。

患者携帯カード

子宮内膜症に伴う疼痛改善剤・**ヤーズフレックス® 配合錠**を服用して
月経困難症治療剤 いる方へ

- 次のような症状があらわれた場合は、血栓症の疑いがあります。症状が軽くても飲むのをやめて**すぐに医師に相談**してください。

足の痛み・腫れ・しびれ・発赤・ほてり、頭痛、嘔吐(おうと)・吐き気 など

- 次のような状態になった場合、飲むのをやめて**すぐに医師に相談**してください。

体を動かさない、脱水 など

長時間同じ姿勢でいたり、水分が不足したりすると血栓症が起こりやすくなります。適度に体を動かしたり、こまめに水分をとるようにしましょう。

受診医療機関の先生方へ

- この患者さんはヤーズフレックス® 配合錠(卵胞ホルモン・黄体ホルモン配合剤)を服用しています。
- 患者さんが本カードの赤枠内に記載されている症状を訴えて受診した場合には、卵胞ホルモン・黄体ホルモン配合剤に関連した**血栓症***の可能性を**念頭においた診察をお願いします。**
※主に下肢静脈血栓症、肺血栓塞栓症、まれに頭蓋内静脈洞血栓症、脳梗塞、腸間膜血栓症、網膜血栓症、心筋梗塞等
- 異常な症状があれば必要に応じて処方医にご相談ください。